

沖縄県立看護大学

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀 1 丁目 24 番 1 号

TEL (098) 833-8800 (代表) FAX (098) 833-5133

https://www.okinawa-nurs.ac.jp

編集:沖縄県立看護大学/大学広報委員会

発行: 2020 (令和2年) 3月

OKINAWA PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

®かせかけ

沖縄県立看護大学広報誌

2 0 2 0 VOL.32





1年次 湖城 佑美

沖縄県の現状を知り、地元に貢献したいという思いで沖縄 県立看護大学に入学しました。大学では1年の前期からグ ループワークをする授業が多くあり、自分の意見を他者に伝 えたり、いろんな人の考えを共有したりできる機会はとても 楽しく、充実しています。今後は課題や実習など大変なことも たくさんあると思いますが、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨 して頑張っていきたいです。







別科助産専攻 仲村渠 美紀

私は、沖縄県の母子保健に貢献したい想いを抱えて、別科助産専攻に入学しました。入学前から忙しいと聞き覚悟はしていましたが、実際に講義やグループワーク、演習や課題と忙しい日々ですが、一日一日が刺激的でした。また、沖縄県の母子保健の現状に触れながら助産師の活躍できる場所について視野を広げることができました。学生生活を過ごしていく中で、つらい時は支え合い、励まし合うことができる仲間ができたことも、本当に幸せに感じています。これから助産実習が始まりますが、学んだことを振り返りながら、一つ一つの命に真摯に向き合い、母子とその家族に対して感謝の気持ちを忘れずに実習に励みたいと思います。



大学院生 祷 真人

私は病院で勤務しながら、大学院で学んでいます。授業は夜間にあり、勤務を定時で終わらせて、速攻ダッシュで学校に来てギリギリ間に合うスケジュールです。大学院で学ぶには職場の協力も必要です。苦労もありますが、新たなことを学ぶ喜びもあり、充実した日々を送っています。一つでも多くの学びを患者さんのために活かせるようにと頑張っています。看護の道は奥が深く、仕事も勉強もハードです。それでも、看護でしが味わえない感動があるからこそ頑張れると思います。



01



新人生宿泊オリエンテーション

新入生、先輩学生、教員が共同作業を通して、 お互いの絆を深めるオリエンテーション

今年は、うるま市石川青少年自然の家で行われ、 ハイキングや野外炊飯カレーライスづくりに挑戦しました。





別科助産専攻 吉岡 史

(写真下が本人)











1年次 上原 志緒里

沖縄県立看護大学では入学早々に 行われる宿泊オリエンテーションが あります。この研修会では登山や ウォークラリー、カレー作りなされ では登なとれるといった。同級生はもちろんのこと、 先輩方や教員の方々とも仲を深めとしいますが、ぜひ積極的に多くのから 関わってください!これからの 学生生活がもっと楽しくなると思います。





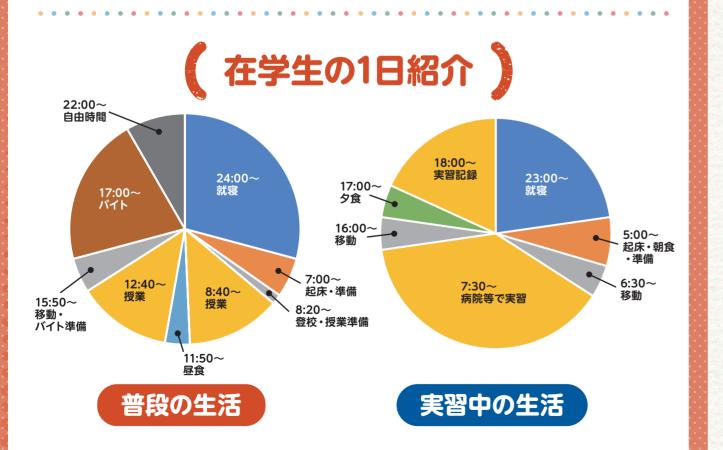
| 学生生活紹介||

(県外からやってきました)

2年次 嶽元海

もともとダイビングが好きで、家族で沖縄の海に潜ったことをきっかけに沖縄が好きになったことや、看護に興味があったこともあり沖縄県立看護大学への進学を決めました。初めての1人暮らしですが、家事は好きな方なので特に苦に感じることはありませんが、課題が多いときは大変なので大学の仲間と励まし合いながら乗り越えています。県外の大学に進学することは不安もあると思いますが、皆優しく充実した大学生活を送れると思うのでぜひ沖縄に来てください!





(県外学生交流会参加紹介)

3年次 東江 優奈

私は高知県で行われたLINKtoposという全国公立大学学生ネットワークに参加してきました。大学生にできる防災教育等をグループで話し合い発表したり、各大学で行っている活動に関するポスターセッション、黒潮町長の講演、津波の際の避難経路を歩いてみたりと内容盛りだくさんの3日間でした。防災というテーマを通し全国の大学生と交流する中で、外から沖縄を見て感じ、また積極性など多くの面で刺激を受けることができました。これらは今後の学生生活、そして社会に出てからも大いに実りのある課題であったため、自分の中で留めることなく学校や社会へ還元できるよう努めていこうと思います。





2019年 オープンキャンパス

やってみよう!のぞいてみよう!看護の技!



2年次 与儀 彩香

『やってみよう!のぞいてみよう!看護の技!』のブースでは、人形を用いて心音や呼吸音を聞く体験をしてもらいました。正常な音と異常がある音を、説明しながら一緒に聴診器で聞き、比べてみることでその違いを感じてもらえたと思います。聴診器を通しての心音や呼吸音はなかなか聞く機会がないので、びっくりしたり、楽しそうにしている様子がみられました。今回の体験を通して、より看護に興味を持ってもらえたらいいと思います。



幸せの瞬間♡助産師への第一歩

「幸せの瞬間♡助産師への第一歩」では、お母さんのお腹の中での赤ちゃんの成長の過程や、お腹の模型を実際に触れてもらい、赤ちゃんがどのようにしてお腹の中にいるのかということなどを感じてもらいました。また、実際に内診台に乗ってもらい妊婦さんの気持ちを少しでも知ってもらうことができた機会になったと思います。ブースに来ていただいた方は、外見からは見ることができない赤ちゃんの成長過程やお母さんの体の変化などに興味を示しているようで、説明している私たちもつい熱が入ってしまいました。この体験を通して助産師に興味を持ってもらえたと思います。

削科助産専攻 與古田 梓帆



在学生とのフリートーク



2年次 金城 早希

「在学生とのフリートーク」では、大学受験に関すること、大学での勉強・看護実習、サークルや休日の過ごし方まで、幅広く自由に話をすることができます。受験を控え不安そうな様子も見られましたが、在学生からアドバイスをもらえるいい機会でもあると思います。たくさん質問してもらえて嬉しかったです。また、在学生と話をすることでモチベーションが上がったり、さらに興味をもったり、楽しそうだと感じてもらえたら嬉しいです。

精神障がい者の就労活動を知ろう

私は、「地域における精神障がい者の就労活動を知ろう」のブースに参加しました。このブースでは、事業所で作った作品の展示があり、事業所で働く職員や利用者とお話しができました。私は、事業所の利用者の方々がどのような生活をしているのかを説明しました。参加者からは、「事業所ではこんな感じのことしているんだ」と声がきかれ、精神障がいを抱えながら地域で働く人たちの生活について正しく学ぶことができたと思います。楽しく気軽にお話しできる雰囲気なので、ぜひ参加してみてください。

4年次 前里 勇斗



看護大学のより良い教育環境づくりへの取り組み

サポーター(PC貸与)



学務課 情報担当 比嘉 康晴

2019年度より、学生一人に一台タブ レットタイプのノートパソコンの貸与が開始 されました。効率的かつ自主的に学習する 教育環境の充実を図ることを目的に今年 度より始まった新たな取り組みです。導入 された個々人に割り振られたメールアドレ スに加え、WordやPowerPointなどのア プリケーションを導入することによって、レ ポートのペーパーレス化、課題のプレゼン テーション資料の作成などに役立てて欲し いと思っております。

このような学習環境の中、看護専門職者 を目指して欲しいと思います。





エキスパートと学生の交流

海外で活躍する ウチナーンチュナースとの スカイプ中継による交流会

国際交流室運営委員会 栗原 幸子

9月に開催された看大祭において、海外で働く沖縄にルーツ をもつ看護職者(ウチナーンチュナース)とのスカイプ中継によ る交流会が行われました。今年度は、カリフォルニア・テキサス・ ハワイ・ニューヨークと、多様な土地で働く6名の看護職者との 交流でした。参加した学生たちからは「実際に海外で働いてい る人の話が聞けて海外で働くことに興味がわいたし、「日本と海 外の違いが分かって楽しかった | などの感想がありました。





80歳の少年 比嘉良治先生との交流!

2019年10月10日(木)

比嘉良治先生は沖縄県立看護大学の名誉教授 あったそうです。学生に「一歩一歩歩けば必ずたど である比嘉良充先生のご令弟であり、芸術家です。 大講義室前に飾られている絵画は、本学の開学10 こと、ゆっくりと自分のペースで行けば必ず追いつ 周年への思いを込めて、比嘉良治先生が制作され くはずだから との力強いメッセージをいただきまし ました。本学とのゆかりの深い比嘉先生ですが、今 回は、江戸上りならぬ江戸下りとした東京から沖縄 までの徒歩による旅の道中で本学に立ち寄り、学生 との交流の機会をつくってくださいました。

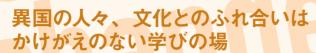
をやってみたかったと語る比嘉先生。その表情はと ても生き生きとされていました。ちなみに、琉球にも 慶賀使と謝思使という、参勤交代に代わる制度が

り着く!目標を決めたら必ず行ける。絶対に焦らない た。学生からは、なぜ歩きたいと思ったのか、長い旅 の間に挫折ややめたいと思ったことはないのかなど の質問があり、「とてつもなく馬鹿らしいことをやっ てみたかった。一生に2、3回そんなことをしてもい 東京から沖縄までの徒歩の旅を始めたのは、江いと思う。挫折をするという脳はないが、でも寂しい 戸時代に行われていた参勤交代という歴史の逆を と思ったことはある | とユーモアーを交えたやりとり いってみたかったからで、歩いて旅をするということがありました。いくつになっても少年のような冒険心 を忘れずに挑戦し続けるという比嘉先生の生き方 は、きっと学生の心を揺さぶったことでしょう。比嘉 先生、本当にありがとうございました!





国際交流





ハワイ研修 3年次 山川 倫代

私たちは3週間カウアイ島とオアフ島にて研修を行いました。 カウアイ島では、KCCでの講義、病院見学、ホームスティを 行いました。

KCCの授業では、微生物学や神経学、日本人移民の歴史の授業、アメリカの医療制度の授業などがありました。私がハワイの授業スタイルで一番驚いたのは、どの授業も全員参加型の授業スタイルということです。先生が一方的に話すだけでなく、一人ひとりに意見を聞き、ディスカッション形式で授業を受けるため、どの授業も活気があり、楽しく学ぶことができました。ハワイ大学マノア校では、沖縄戦について学び、第二次世界大戦をアメリカ側と日本側の両側面から考えることができました。講義の他にも、大学内にあるシュミレーション施設の見学を行い、日本とアメリカの看護教育の違いを知り、より実践的な技術を学べる環境に感銘を受けました。

ハワイ研修に参加し、日本の医療の現状や異文化理解について 考えさせられるきっかけとなりました。ここで得た経験をこれからの 学校生活や将来のキャリアに活かしていきたいです。











ハワイ研修 1年次 洲浜 奈菜美

ハワイ研修では特にシミュレーションの講義が印象に残っています。最新の機械、設備があり、それらを使って、テキストだけではわからない対処方法や判断力が身につくことが分かりました。例えば、マネキンが喋ったり、様々な病気の状態になったり、本物の皮膚にそっくりなど、本物の人を扱っているような感覚になりました。講義を通して日本とアメリカとの看護、医療の違いが学ぶことができました。このハワイ研修に参加したことで、自分のやるべきことや視野が広がって、より一層学びたい欲が出てきました。私は4年のうち1回は参加したほうがいいと思いました。それだけいい経験だったし、この研修でしか学べないことが多かったからです。

台北学生ボランティア

2年次 玉那覇 美空

「你叫什么名字?」から始まった彼女らとの3週間の交流は、私に同じ看護の志を持ったかけがえのない仲間を与えてくれたと同時に、自身を大きく成長させてくれました。交流では彼女らとの会話や通訳が主だったのですが、自身の語学力の不足から言いたいことが伝わらないなど、うまくいかないことが多々ありました。しかしその困難な状況に直面し乗り越えていく中で、持てる知識を最大限使い何とか伝えようとしたり、伝わるまで諦めないこと、相手の話を理解しようと聴く姿勢など、語学力だけでなく自身の人間としての成長があったと思います。

身近にあるチャンスを生かし自分を成長させる、この交流を通してその喜びを感じました。このことを活かし、日々進歩する医療とともに歩み、自身の看護を深めていけるような看護職者を目指したいです。





台北医学大学から研修生を受け入れて

国際交流室運営委員会 知念 久美子

7月16~26日の11日間、台北医学大学から6名の研修生を受け入れました。台北医学大学からの研修生を受け入れは今回が2回目です。今回の研修では、本校の在学生が大学を案内したり、生まれ育った島の高齢者の生活を紹介したり、介護を通して学んだことを伝えたり、ボランティアで沖縄各地を案内したりなど在学生と研修生が交流できるような機

会を多く設けました。在学生は研修生から中国語や 台湾の文化を学び、研修生は在学生から沖縄の高 齢者の生活や文化を学ぶ機会になっていました。ま た、積極的にお互いのことを知ろうと行動する学生 の姿がとても頼もしく感じ印象深かったです。今回 の研修は、学生の国際的な視野が広がる機会に なったと思います。





第21回 看大祭

学生が主役の看大祭、想像と創造のイベント!! 学生会が主体となり看大祭の企画運営を行います。 毎年、様々な趣向を凝らした出し物があります。

看大祭 実行委員長 2年次 金城 一紀

000000000000

9月14·15日に『笑顔満載 看大祭 そこのあなたも 笑いな祭!』をテーマに「看大祭」が開催されました。看大祭では、血圧測定やハワイ研修といった看大生らしい看護系の出店、学生によるお化け屋敷やサークルの出店の他、学外からの出演としてエイサーやダンスなどがありました。学生が主体となって祭りを盛り上げました。また、後夜祭では、学生によるバンドやダンス、劇やコントが行われ、大いに盛り上がりました。





2年次 島袋 真希

今年の看大祭では親しい友人と一緒に出店しました。準備や飾りつけ・片付けまでみんなで協力しながら楽しく行うことが出来ました。来場者の方に楽しんでいただけるように、外装に風船の飾りつけや看板のペイントを施し、商品も味だけでなく容器や見た目にもこだわりました。そのため、地域の方を含む来場者や他学年の方とコミュケーションをとる事ができ、有意義な時間を過ごすことのできる看大祭となりました。



2年次 大底 佐枝

思い出作りに後夜祭に初めて友達と一緒に出演しました。ダンスの曲を選び、振り付けを覚えられるか心配でしたが、友達と楽しく練習することで自信をもって本番を迎えることができました。練習を繰り返したり、実行委員と曲をかけるタイミングや照明の当て方などを話し合い、本番は私たちが想像していた以上に盛り上がることができました。緊張より楽しみの方が大きく、見てくださるお客さんも手拍子をしてくれたのでとても楽しく踊ることができ、友達との思い出を作ることができた後夜祭でした。皆さんも是非参加してください!!

看護大学 令和元年度 本業生・修了生の声

はばたく専門職者たち

卒業、気の引き締まる思い

VOICE O1

看護学部 卒業生 大嶺 沙和乃

沖縄県立南部医療センター・ こども医療センター 産科

実習中はひとりの人のことだけを考えてケアをしていましたが、就職すると複数の患者さんを受け持つので、同時に複数の人のことを考えて動かないといけないです。そこが実習と仕事との違い。今は10人の患者さんを受け持ち、毎日忙しくしており、覚えることもたくさんありますが、充実しています。今日は初めての夜勤に入ります。夜勤は看護師が少ないので、ドキドキしています。頑張ります。(ホームカミングディ 6月8日インタビューより)

卒業、そしてスタート地点に 立ち思うこと

VOICE 看記 佐:

看護学部 卒業生 佐久本 莉沙 市川総合病院 小児科・眼科

働いてみて、自分が想像していた以上に大変で、勤務して2か月が経過した頃には、できることも多くなると思っていました。しかし、看護師という職業は責任を伴い、その上に判断して動かないといけない状況が多々あり、学生との違いを痛感しています。また、仕事が終わって帰宅しても、業務の抜けがなかったかと不安になることもあります。

そのような状況ではありますが、職場は、教育に 力を入れており指導体制も整って、とても丁寧に 新人職員に関わってくれます。

夜勤にはいるのは9月からで、他の病院に比べ、ゆっくりとしていると思いますが、一歩ずつ着実に進みたい人には向いている病院ではないかと思いました。

ホームカミングデーなどの参加に関しても、業務 として時間を配慮していただきました。

これからも、頑張っていきたいと思います。



仲間と共に乗り越えた1年!

VOICE OS

別科助産専攻 卒業生 **江城 三智** 医療法人がじまる会

私は、看護師として産婦人科病棟で働く中、 日々自分の無力さを痛感していました。その中で、 沖縄県の母親の育児不安が増大している事を知 り、看護職者として育児サポートさせて頂きたく助 産師になることを決意し入学しました。

入学後は、自身で決意したことではありましたが、個人課題、グループワーク、試験、助産研究、 実習と毎日課題をこなしていくことで精一杯でした。時には逃げ出したくなる時もありましたが、苦楽を共にした仲間と励まし合い、教員からの助言を 頂きながら別科助産専攻の一年間を乗り越えることができました。

そのことを糧に今後、母子の健康管理を行うと 共に育児不安を抱える母親をサポートできる助産 師を目指します。





大学院で学んだ宝を活かす

大学院修了生 (新領域保健看護 博士後期課程) 永野 佳世

しなさき訪問看護ステーション

私は、今の日本では未整備な、補助人工心臓を 装着して、長い移植待機の闘病生活を続ける患者 様とご家族の支援の構築を目指すため博士後期 課程に進学しました。博士前期課程で研究の基礎 を学び、博士後期課程では多数の論文と向き合 い、世界的な動向、見解、日本での見通しを検討 し、研究に取り組みました。人生のうちで一つの研 究に向き合うという、とても貴重な時間でした。大 学院での学びは、大きな宝でもあり、その宝を持ち 腐れることなく、研究活動を続けていくことが学ん だ者の責務であると感じています。 (写真方が本人)















のぞいてみよう! 看護大学

看護大学では、こんな授業が行われています。



ヘルスアセスメント

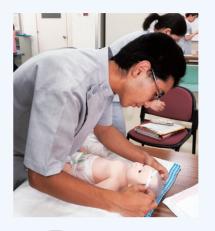


ヘルスアセスメントは2年生の前学期に開講され る科目で、看護の対象となる人の健康状態を把握 し、どのような健康問題があるかを分析するために 必要な技法を学びます。授業では、学生同士でペア になり、それぞれ交代で看護者と患者になります。 看護者になった学生は、患者役の学生に質問し、視 て、触れて、打って、聴くことで、患者から様々な情 報を集め、健康なのか、健康とはいえないのかなど を考えます。まさに、五感を使って情報を集めるので す。とても高価なモデル人形を使って勉強すること もあります。健康に関する質問をしたり、身体に触れ たり、身体を視たりすることは、患者のプライバシー に関わることですので、ヘルスアセスメントでは、技 法と同時に、相手を気遣い、配慮するという、看護

アセスメントを含む前学期の授業が終わったら、後 学期には、いよいよ患者を受け持ち、看護を行う隣 地実習が始まります。ヘルスアセスメントは、隣地実 習前のとても大事な科目なのです。







ヘルスアヤスメントでは、これから看護師として働くうえで欠かけ い看護技術について学びました。一年次で少し技術については学んで いましたが、二年次からは本格的な看護技術を学ぶことになり、少しの 不安がありましたが、先生方の丁寧で適切な教えのおかげで技術を得 ることができました。また、ヘルスアセスメントでは、患者の主観的・客観 的情報の取り方や各部位の視診、触診、打診、聴診などの方法を学びま したが、その際に学生同十でお互いをアセスメントしたことが印象に 残っており、より実践的でよかったです。二年次後期から実習が始まる ので、この授業で学んだことを活かして頑張っていきたいです!

日本語表現法

非常勤講師 仲原 穣

本学の教養科目はバラエティーに富み、魅力的な内容が盛りだくさんです。 今回は「日本語表現法」についてご紹介します。

「日本語表現法」ってどんなことを勉強する科目?

日本語は社会生活や職業生活でスムーズなコ ミュニケーションをとるために欠かせません。「日本 語表現法 | では、日本語による話し方と日本語の特 徴について学びます。そして、自分の考えを日本語 で的確に表現し、相手に伝えることができること、さ らに、場面に合わせて適切な文体や敬語を使うこと ができることを目標にしています。また、沖縄の文化 を理解するために、うちな一ぐち(沖縄方言)の表現 の特徴についても学習します。講師は、専門分野の 幅広く深い学識をおもちの喜屋武雅勝先生、伊狩 典子先生、仲原穣先生の3人の先生方です。

仲原 穣(なかはら じょう)先生にお話を伺いました!

"うちなーぐち" などの琉球語学と日本語学を専門 にされている仲原先生は、久米島生まれの沖縄本 島育ち。沖縄の離島などに足をはこび、方言調査を されているそうです。

●沖縄県立看護大学の学生に合わせた授業

授業は"単語の集まり" (=語彙(ごい))と"文を作 る仕組み"(=文法)を中心とした内容となっており、 "沖縄県立看護大学の学生さんが就職活動でエント

リーシートや小論文を書くときや職場でいろいろな 人々とのコミュニケーションに役立つ話をする"こ とを考えて授業をしています。「日本語表現法」と いう科目ですが、沖縄県立看護大学には琉球語に 関する独立した科目がないため、この科目の中で 沖縄のことばについても教えています。

●仲原先生の目に看護大学の学生はどのように 映っているのでしょう。

学生さんはまじめで、態度がよく、話を聞こうと する姿勢があります。しかし、日本語の力には少し バラツキがあるようです。勉強でいつも忙しそうで すが、勉強の合間に楽しみを見つけられるような 習慣を付けておくと、社会人になったときに気分転 換や気持ちの切り替えができると思います。例え ば短期ツアーに参加して、島を巡ってみてはどうで しょう。僻地医療を学ぶ機会にもなると思います。 私も方言調査で島に行き、島の人から話を聞きま

す。人から話を聞くと、経 験値が上がります。経験を 積むと、人間味のある看護 職になるはずです。



●● サークル紹介 ●●●

看護大学では、学内交流及び地域交流を行う 様々なサークルが積極的に活動しています。









こんにちは。軽音サークルです!

軽音サークルでは楽器経験の有無に関わらず、好きな音楽を通して気軽に楽しく活動しています。主な活動としては、新入生歓迎ライブやクリスマスなどの季節に合わせたライブを企画し、食堂「エンジェル」でミニライブを行っています。また、9月に行われる看大祭では、ロビーでの演奏に加えて後夜祭でも演奏を行っています。バンドは先輩後輩関係なく組めるので、他学年の学生とも交流することができます。少しでも興味が沸いた方は、ぜひ軽音サークルに遊びに来てください!楽しみに待っています!

サークル紹介



性・命の達人キラリサークル

サークル長:3年次 島袋 ひなた





私達、キラリサークルは一人一人の性と命の大切さについて共に考えることを目標として、2010年に結成されたサークルであり現在約15人で活動しています。活動内容としては、妊娠・出産、避妊や性感染症についての情報提供を行っています。活動の場としては、本学のオープンキャンパスや他大学の学祭に参加したり、近隣中学校に出向いて性教育をしています。看護の学部で得た正しい知識を仲間と共に情報提供しています!助産師に興味がある方、助産師に興味がなくても、先輩方と一緒に看護に関しての学びを深めたい方、ぜひキラリサークルへ!

サークル紹介



スポーツ全般サークル

サークル長:3年次 我那覇 命





私達スポーツ全般サークルは先輩後輩と仲良くなりたい、友達や恋人を作りたいという思いから生まれました。部活動などとは違い参加は完全に自由で、上下関係も厳しくないので誰でも気兼ねなく楽しめます。また、痩せます。初心者でも楽しめるスポーツを行いますので、運動に自身がない方も大歓迎です。もちろん他のサークルとの掛け持ちもOKです。そしてこのサークルは特に女性の皆さんにオススメです。そもそも県看は男子学生が8分の1しかいません。こういうサークルにでも入らない限り男子学生との交流はありません。大学に入ったら自動的に恋人ができるなんて甘い考えは捨ててください。皆さんが来てくれることをメンバー一同心よりお待ちしております。

地域貢献だより

多くの在学生が課外のボランティア活動を通して地域に貢献しています

島嶼看護職者研修を久米島病院と協働で開催

地域協働連携センター運営委員会委員長 大湾明美

本学は、平成24年度から2年間、厚生労働省と沖縄県の地域医療再生基金を獲得して、島嶼看護職者のための段階別研修プログラムを開発しました。現在、そのプログラムの一部を活用し、病院事業局が島嶼看護職者研修を開催しています。

病院事業局の看護職だけでなく、すべての島々の看護職者の人材育成および研修機会を確保する必要性から、本学と久米島病院看護部との協働による「島嶼看護職者研修」を始めました。久米島で地域包括ケアを推進できる"人財"になれるよう、保健医療福祉の専門職や住民にも広く呼びかけています。久米島にある公立病院の使命、島嶼での人材育成と人材確保、地域文化とケア、島嶼での看護実践の工夫、協働によるセルフケア支援について、5回シリーズで開講しています。

今回の企画は、久米島病院看護部長からの依頼による産学連携であり、地域の課題への協働の取り組みです。本学は、沖縄の看護人材を育成する立場から、今後も必要と求めに応じて地域貢献を推進していきます。







2020年度 行事予定

- 入学式 前期授業開始
- 10月 後期授業開始 大学院入試

5月 開学記念日

- 11月 特別選抜入試
- 7月 オープンキャンパス
- 1月 大学入学共通テスト

8月 ハワイ研修 夏季休業

- 2-3月 一般選抜入試
- **9月** 看大祭 (夏季休業のうちの2日間)
- 3月 卒業式

卒業式・修了式



「かせかけ」とは

綛(かせ)とは紡いだ糸を巻く道具。この道具を使って織物用の糸を巻いていく様子を「かせかけ」と言います。愛する人を想って糸を巻く、そのような情景を描いた踊りは、琉球古典舞踊、「七踊り」の一つにも数えられています。大切な想いを丹念に紡ぎ、そして形にしていく「かせかけ」のテーマは、学びを重ねながら成長する学生たちの大学生活にも通ずる部分がありそうです。広報誌「かせかけ」では、そのような学びの一コマーコマを取り上げてお伝えします。

21